

第46回日本PTA近畿ブロック研究大会京都府大会

第61回京都府PTA研究大会亀岡大会

第46回日本PTA近畿ブロック研究大会京都府大会が11月8日（日）に、京都府副知事古川博規様をはじめ多くの来賓の方々をお迎えし、ガレリアかめおかにて開催されました。

「withコロナ」時代にある中、『時代は今！地域で子育て、^{とき}未来を拓く^{ひらく}～つなげよう笑顔、わかちあおう感動を～』を本大会のスローガンに掲げ、近畿2府4県3市の近畿ブロックPTA協議会約100名の役員等の皆様の参加の下、表彰式、記念講演等が行われ、大会の開催状況をYouTubeによる動画で配信するなど、全国に先駆けて広く視聴していただける取組となりました。

大会のダイジェスト版動画を、後日京都府PTA協議会ホームページに掲載する予定です。是非ご覧ください。

■<http://www.kyoto-pref-pta.jp>



【表彰式】

日頃のPTA活動へ功績があった9府県市のPTAの個人（67名）・団体（10団体）の皆様在近畿ブロックPTA協議会会長表彰が授与されました。おめでとうございます！



【記念講演】

■演題「夢をあきらめない！」

■講師：石黒由美子氏（アーティスティックスイミング北京五輪代表選手）

石黒 和美氏（石黒選手の母親）



石黒由美子氏は愛知県出身で、小学2年生の時、交通事故に遭遇し、記憶喪失、顔面麻痺、視力障害など様々な後遺症に苦しむ日々が続く中、憧れのアーティスティックスイミング（2018年シンクロナイズドスイミングから名称変更）に出場したいという夢を抱き、母親との二人三脚で見事にオリンピック出場を果たされました。オリンピックに出場されるまでの間、

母親の和美氏は常に「言わない・寄り添う・傍にいる・安心を作る」という信念の下、由美子氏を支え続け、由美子氏も大けがに遭っても、リハビリ生活の中で夢を諦めなければ夢が叶うと信じて努力を続けてこられました。自分が「信じる」という諦めないことの大切さ、どんな時でも母親の「信じてくれている」という温かさや力強さ、この『二つ』の力、いわば、親子間の真の『信頼関係』があったからこそ、オリンピックに出場することができたと話されました。

昨今では、`親が子どもをどのように育て、接しているのか分からない、など様々な悩みが多いと思います。今回の講演内容は、そうした悩みの一助になると改めて感じました。



【引継ぎ式】

最後に、次年度の開催地となる大阪市（大阪市PTA協議会）に大会旗が引き継がれ、無事に大会を終了することができました。

今回の研究大会は、亀岡市PTA実行委員会の皆様、そして、京都府PTA協議会の役員・理事の皆様のご協力の下、円滑に運営することができ、成功裏に終えることができました。皆様のご協力、本当にありがとうございました。

